

3/31(日)

自分の想いを探るワークショップ

— 説得力のあるコミュニケーション力を
身につけて仕事をスムーズにする —

医療、リハビリ、福祉などの分野で働くセラピストのために、今回のワークショップを企画いたしました。

このワークショップは、忙しい臨床の中で、自分が本当はどんな想いで働いているのか？本当はどんなことをしたいのか？そんなセラピストとしての、自分の本心を探っていくワークショップです。

セラピストのように対人援助職をしていると、患者さんのため、組織のため、後輩のため、先輩のため、など人のためと、人に尽して働くうちに、自分の想いがわからなくなってくる場合があります。

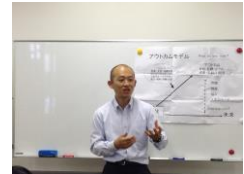
そのためリハビリの現場では、患者さんへのリハビリの説明、多職種への協力要請、後輩への指導などの際にうまく自分の気持ちや想いが伝わらない、伝えられないということが起こります。そして、本当の想いを見失ってしまったようで仕事のモチベーションが上がらない。本当の想いとは違うメッセージが優先されストレスが溜まっていく場合があります。

こんな時、自分がなぜ、このことを伝えたいのか？その自分の想いに気づくことで、コミュニケーションや行動が変わります。自分が伝えるメッセージと想いが一致することで、コミュニケーションは説得力を持つからです。

今回のワークショップでは、NLPという心理学の手法を使いいくつかのエクササイズを通して、自分の想いや本心を探っていきます。仕事をスムーズにするためにも、自分の本心を探り、コミュニケーションスキルを磨いてみませんか？

日時:平成31年3月31日(日) 10:00~16:30
参加費:8000円(複数人でお申し込みの場合一人6000円となります。)
対象:PT・OT・STなどリハビリ従事者・医療福祉関係者など(学生も可)
定員:10人(定員になり次第締切)
場所:越谷市コミュニティセンター第2和室
和室で行います。楽な服装でお越しください。
JR武蔵野線南越谷駅、東武スカイツリーライン新越谷駅(地下鉄日比谷線・半蔵門線直通)徒歩3分
お申し込み方法
件名に「3/31ワークショップ参加希望」と書き、氏名、職種、メールアドレスを書いたうえで
rihacomm@gmail.comまでメールでご連絡ください。

講師紹介:杉長 彬
作業療法士
NLPマスター
プラクティショナー



平成18年4月より埼玉県内にある精神科病院にて勤務。平成21年より、臨床におけるコミュニケーションスキルの必要性を感じ、NLPの勉強を本格的に始める。以降計150日以上トレーニングを受け、NLPマスタープラクティショナーの資格を取得。現在、臨床で使えるコミュニケーションに関するワークショップの講師を行っている。